

## 45 高知県 香南市

### 上井川（兼山三叉周辺）

水源	導水方法	導水箇所	水環境上の問題
農業用水	既設水路 自然流下	河川・水路	親水性・景観



※地図中の破線枠は次ページの地図範囲

#### 対象地域の概要

##### ・地区概要

香南市は高知市の東方約 15km に位置し、高知市への通勤圏であることから、そのベッドタウンとして人口が増加しています。当地の中心部はもと荒野で、江戸初期の山内時代に郷土によって開墾され、荒れ地が町に改変したことから「野市」と名付けられました。主要な産業としては、ハウスによる施設園芸等の農業で、現在の人口は 34,176 人、世帯数は 13,602 戸（平成 19 年 2 月末）です。

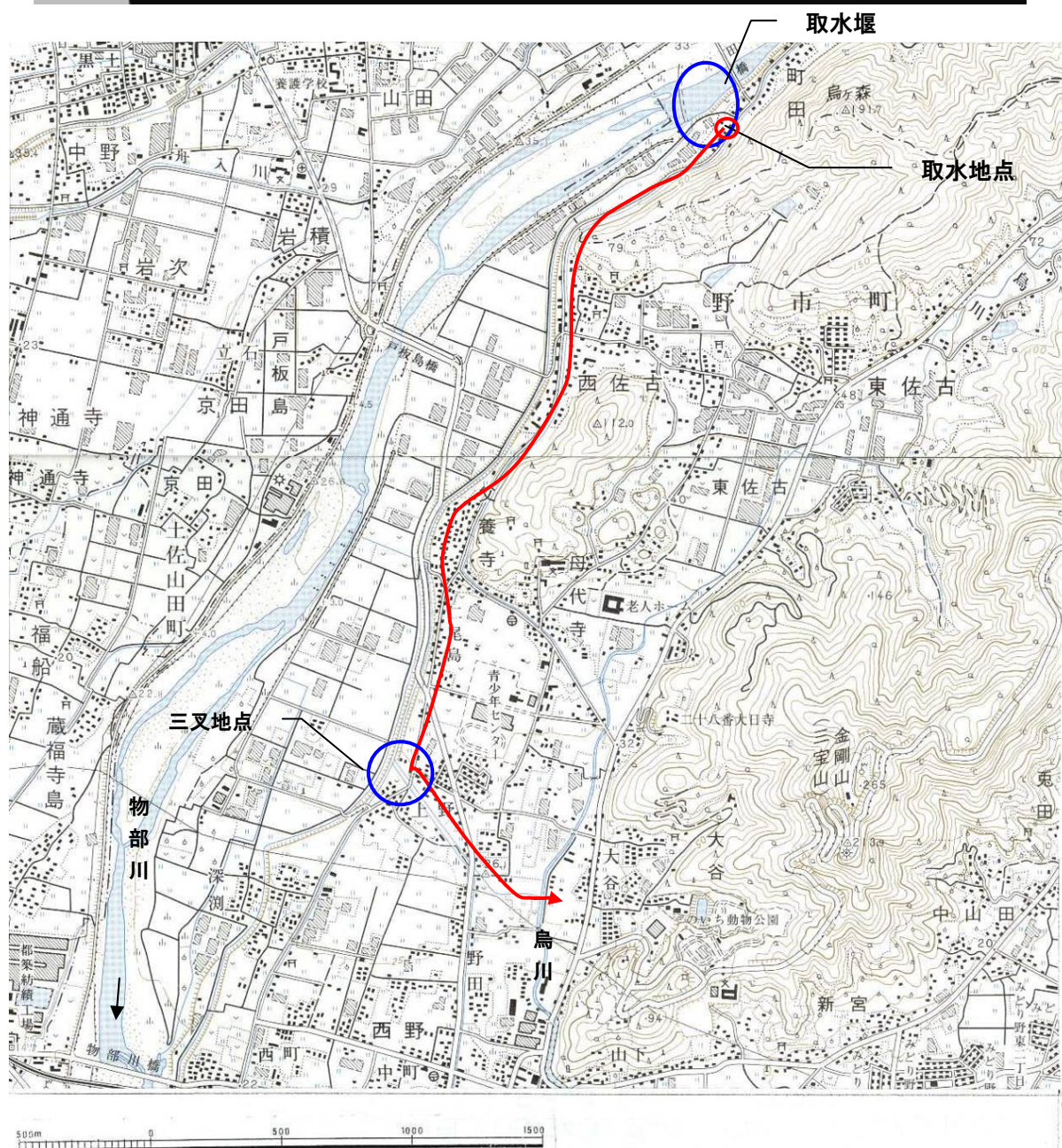
##### ・対象水域の概要

「三叉」は正保元年（1644 年）土佐藩家老である野中兼山によってつくられたもので、物部川より引き込んだ用水路（上井川）の水を、主要 3 支線に分水する施設です。ここで分水された水は、野市台地の主要部に行き渡り、農業用水・生活用水として利用されていました。上水道が発達した現在も農業用水路として利用されており、その当時の石積みも残っています。この遺構は町史跡に指定されており、恩恵を受けている農業者や周辺地域住民にとっては重要な場所として認識されていましたが、町民全体の認知度は高くありませんでした。また、水路の石積みや土堤の一部は崩れかけている箇所があり、さらに土堤や周辺には草木が繁茂し、水路の景観を損ねるとともに人が近づけない状態になっていました。

##### ・水環境上の問題：水質悪化・悪臭 生態系悪影響 **親水性・景観**

・文化遺産が見捨てられている。

上井川は江戸時代につくられた用水路で、維持・改修しながら現在も使用されているが、兩岸の土手は灌木が茂り、用水路も見えず、せっかくの町指定の史跡である「兼山三叉」も目立たない存在でした。また、旧野市町には縦横にきれいで豊かな水が流れていたが、農業用水としての利用だけでした。



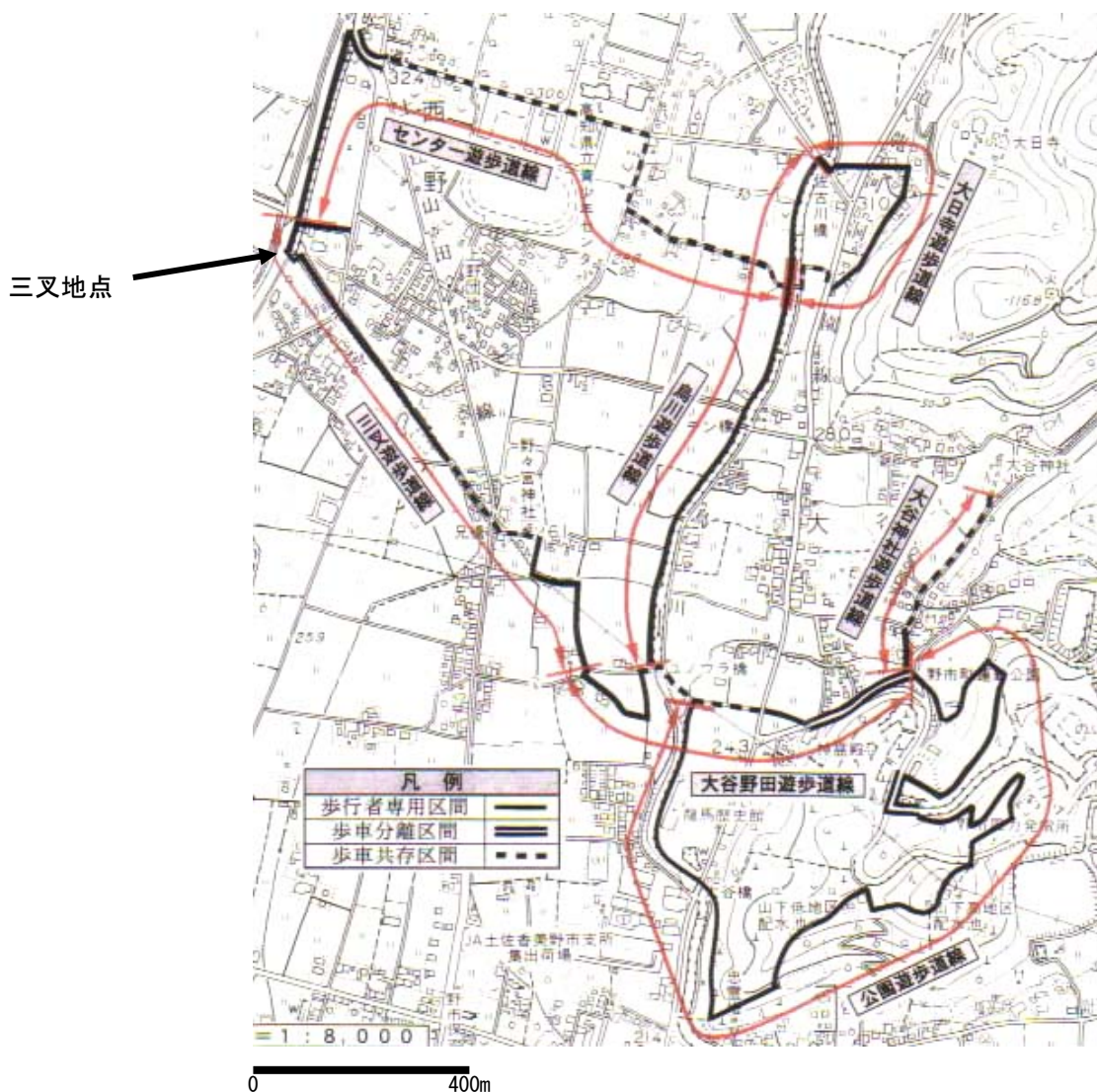
### 導水事業の概要

香南市では、三叉を含めた町内の水路網を「みずみち」と呼び、これらを活かした地域づくりの事業を計画しました。その一環として、町内の自然、観光地、史跡等を巡るルートを設定して歩行者のための道を整備する、町民の健康増進を目的としたウォーキングトレイル事業を導入しました（平成8～13年）。この事業によって、三叉周辺では、水路沿いの桜並木や物部川の河岸段丘、水路に挟まれた林の中など、地域の自然と歴史にふれることのできる散策コースが整備され、多くの人に利用されるようになりました。

さらに、平成13年度には、香南市が「新四国のみち」事業の対象地区として指定され、地域住民や各種団体のメンバーを含めた準備会が発足しました。それによって、土佐くろしお鉄道の開通によって誕生した「のいち駅」とウォーキングトレイルをつなぐ「野開きのみち」のルートを新たに設定し、ソフト面の充実や管理方法に力を注いでいます。

旧野市町は「新四国のみち」事業を検討した時、歴史的な遺産であり、現在も使用されている農業用水路（土地と水）を利用することによって、費用を安くするとともに、観光資源および歴史教育の場として利用しました。

（『教訓』忘れられている資源はないか。地域の水を見直せ。）



導水事業の概要

・目標

「自然と歴史にふれるみちづくり」が目標で、その対象は次の3点です。  
 野山や河川などの自然の風物  
 石積み水路のある農村集落の半自然  
 文化、歴史景観を活かす

・水源

既存の農業用水

- ・観光および散策路として既存の農業水路（土地を含む）を活用した。

・用水量：（現行許可量） かんがい期流量（4/1～10/31）6.89m<sup>3</sup>/s（595,296 m<sup>3</sup>/day）  
 非かんがい期（11/1～3/31）3.11m<sup>3</sup>/s（268,704 m<sup>3</sup>/day）

・導水方法

- ・既存の農業用水を活用しました。
- ・苦労した点：水および土地所有者である水利組合、維持管理等が発生する地域住民および事業実施者である香南市の調整。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">導水事業の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設緒元 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取水堰：（既存）物部川合同堰</li> <li>・用水路：（全て既存）上井川（上流部）および原田溝、町溝、武市溝、十善寺溝、東野溝 既存の農業用水（路）を利用するため、新たな導水施設は必要ない。</li> <li>・上井川の川幅：5.75m、かんがい期の水深：1.6m</li> </ul> </li> <li>・効果 <p>遊歩道等の施設利用者数は把握されていませんが、利用の実態は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くにある県立青少年センターが、運営活動として常時利用している。</li> <li>・香南市が6月および11月に実施するウォークラリーのコースになっている。</li> <li>・歩こう会が毎月利用している。</li> <li>・毎年、花見およびゲンジボタルの観賞に利用されている。</li> <li>・町外の行政機関の視察が数回あった。</li> </ul> </li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">NPOとの協働</p>	<p style="text-align: center;">協働の背景</p> <p>昭和59年3月に地域住民の総意として、次の要望が旧野市町議会に陳情され、採択されました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.兼山三叉を保存（一部復元を含む）する。</li> <li>2.地域住民の憩いの場として公園にする。</li> <li>3.学習と教育の場を利用する。</li> </ol> <p>以上のために、遊歩道、橋、ベンチ、便所、駐車場、手すり等の安全設備、案内図および説明板の整備を行う。</p> <p>その後、旧野市町の計画に取り込まれましたが、他地区の事業（「四国のみち」など）が先行しました。平成8年度に野市町ウォーキングトレイル事業の基本構想および基本計画が作成されるとともに、住民説明会が開催され、平成9年には住民を中心としたワーキンググループが、実施設計と、完成後の維持管理について検討し、同年工事が実施されました。</p> <p style="text-align: center;">役割分担</p> <p>事業主体は旧野市町ですが、利水組合、地区住民等の役割分担は次のようになっています。</p> <p>旧野市町：計画立案、施設整備、維持管理  西上野地区および東上野地区：計画に参加、維持管理  野市上井堰土地改良区：農業用水路および用地の利用  整備費：水路の補修、遊歩道整備については旧野市町が負担したが、1/2は国からの補助である（事業費は約5千万円）。</p> <p>維持管理費：補修および管理は香南市が行っているが、年間10万円程度である。  土地所有：水路、遊歩道、駐車場等の土地は、香南市の所有部分と土地改良区</p> <p style="text-align: center;">成功要因</p> <p>地区住民および旧野市町民がこの計画を推進した要因として、次の点が上げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧野市町発展の基礎になった史跡「兼山三叉」を残したい。</li> <li>・町内を縦横にはしる用水路を眺めながら歩きたい。</li> </ul> <p>土地改良区は用水路を維持管理するために、遊歩道事業を利用しました。</p> <p>また旧野市町役場としては、史跡、ウォーキングトレイル（四国のみち、へんろ道、新四国のみち）、四国遍路28番札所の大日寺、その他の施設等を活用して、町民の福祉、教育の向上を図るとともに、町外から観光客の増加を計画しました。</p> <p style="text-align: center;">今後の課題</p> <p>予算の執行が年度ごとなので、地域住民との協議・検討時間が限られます。そのため、意見を十分に反映した計画の立案およびその修正が困難です。</p> <p>土地改良区および地区ごとに水路、土堤、小道などの維持管理体制が歴史的に形成されてきましたが、住民意識の変化、都市勤労者の増加などでそれが無くなった地区があります。それを、取り戻すための方策が課題になっています。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他関連情報</p>	<p>&lt;関連事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊歩道：整備する距離 1,000m</li> <li>・サイン（道標）および史跡説明板の設置</li> <li>・駐車場とトイレの整備</li> <li>・水路を渡る橋</li> <li>・休息施設の整備</li> <li>・安全柵</li> <li>・土手に生育する樹木の間伐</li> <li>・ガイドマップの作成</li> </ul>

<p>関連事業 その他</p>	<p>&lt;参考情報&gt; その後、平成13年に『野市地区「新四国のみち」地域懇談会』が結成され、施設整備、維持管理、利活用についての審議を行っている。その構成団体は、町商工会、町内会、利用者団体、学校、教育委員会、旧野市町役場、高知県などであり、目的は次のとおりである。 地域の資産となり、地域外の人達にとっても魅力となる、地域住民、NPO等が主体となった安全で快適な歩行者空間等の整備およびその活動を目的とする。</p>
<p>ヒアリング先</p>	<p>【ヒアリング先】 香南市建設課 【参考資料】 旧野市町建設課：平成8年度 三叉遊歩道線測量</p>

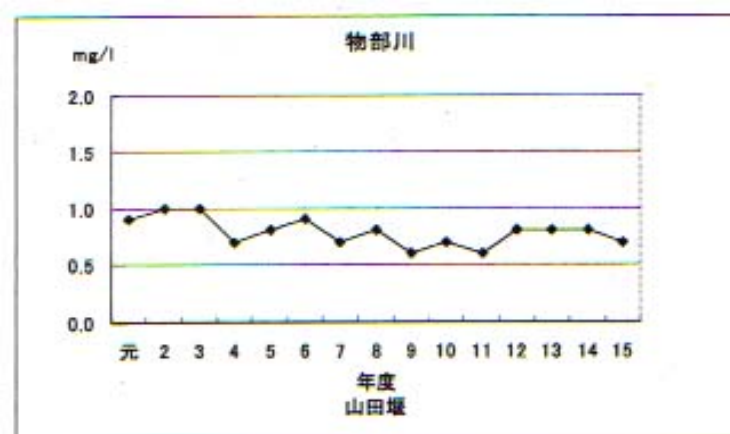


改修前の三叉



改修後の三叉（右の手すり、橋、藪の中の道）





取水をしている物部川の BOD

項目	平均値	最小値	最大値	環境基準適合率
pH	—	7.3	8.5	0/24
DO(mg/L)	11	8.5	13	0/24
BOD(mg/L)	0.7	<0.5	1.2	0/24
SS(mg/L)	3	1	5	0/24
大腸菌群数 (MPN/100mL)	$1.5 \times 10^3$	$1.1 \times 10^2$	$1.1 \times 10^4$	12/24
全窒素(mg/L)	0.27	0.23	0.31	—
全リン(mg/L)	0.013	0.007	0.018	—